

Weekly 原油情勢

改定幅予想(7/3～7/9)

軽油 -3.5～-2.5
灯油・重油 -5.5～-4.5

6月5週(6/24～6/30)トピックス

原油は大幅続落。中東情勢の緊張が和らぎ、売りに拍車が掛かっている。ホルムズ海峡の閉鎖を見送ったこともあって、中東の地政学リスクに対する懸念がやや緩和している。

過去トピックス

6月1週▼

原油は続落。再び関税政策の不透明感から、リスク回避のムードが強まっている。当面の焦点は、米国の関税交渉。特に米国と欧州、米国と中国の関税交渉の行方が原油相場を左右する。

6月2週▼

原油は小動き。米国のガソリン在庫が市場予想に反して増えたことや、サウジアラビアがアジアの顧客向けの7月原油販売価格を4年ぶりの低さに迫る水準まで引き下げたことが弱材料視。

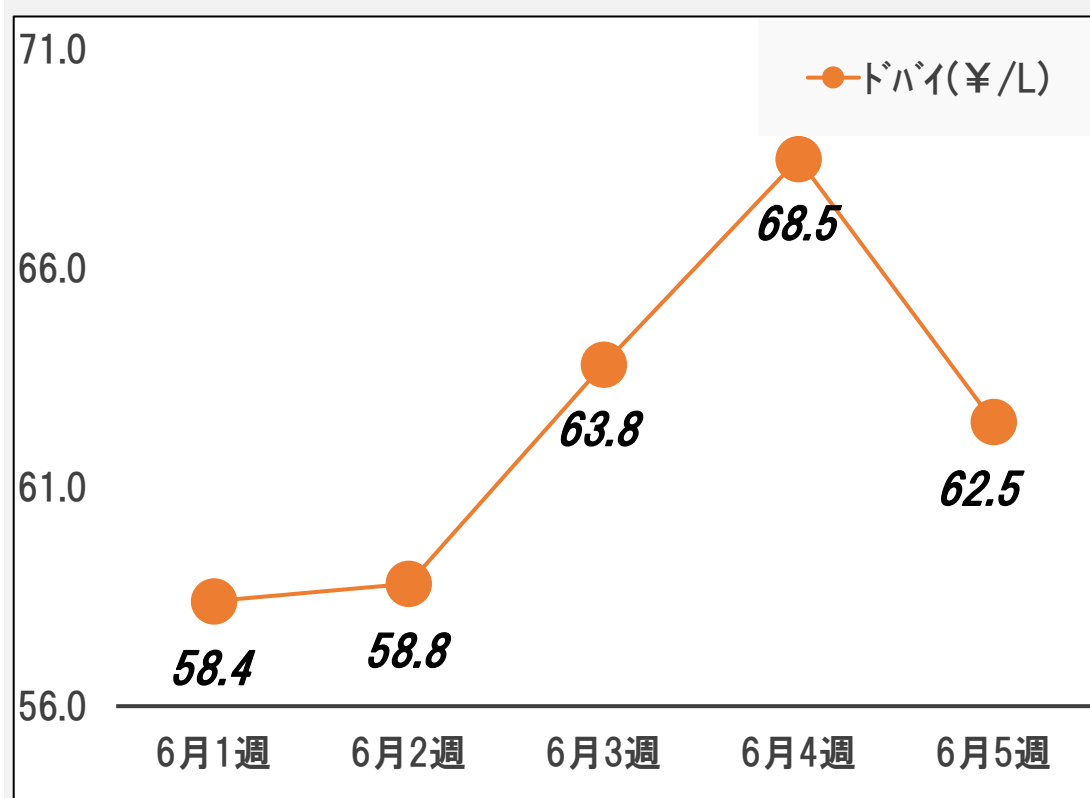
6月3週▲

原油は急反発。イスラエルがイランの核関連施設を攻撃したことで、恐れていた中東情勢の緊迫化が現実化し、地政学リスクが台頭している。

6月4週▲

原油は反発。中東の地政学的リスク高まる。

価格推移表



週	期間	ドバイ (\$/バレル)	為替 (TTS)	ドバイ (¥/L)	増減幅
6月1週	5/27～ 6/2	64.0	145.1	58.4	-0.3
6月2週	6/3～ 6/9	64.7	144.6	58.8	0.0
6月3週	6/10～ 6/16	69.9	145.2	63.8	5.0
6月4週	6/17～ 6/23	74.6	146.1	68.5	4.7
6月5週	6/24～ 6/30	68.0	146.2	62.5	-6.0

「FUJISHO BLACK LABEL」ホームページはこちらよりアクセス ▶▶▶

